

平成22年度 第3回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成22年7月14日(火) 13:30~15:30
- 2 開催場所 小平市立中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 12名(欠席0名)
事務局 中央公民館長、館長補佐、管理係長、分館主査 10名
- 4 傍聴者 0名
- 5 配布資料 (1) 平成22年度第1回 公民館運営審議会会議要・・・資料1
(2) 平成22年度小平市公民館定期講座実施状況表・・・資料2
(3) 平成21年度公民館事業実績・・・・・・・・・・・・・資料3
(4) こだいら公民館だより 平成22年7月号・・・・・・・・・・資料4
(5) 小平市公民館八館会だより 第47号・・・・・・・・・・・・・資料5
(6) 上宿あれこれ 第99号・・・・・・・・・・・・・資料6
(7) 7月・8月 研修会・研究大会 参加者名簿・・・・・・・・・・資料7
(8) 小平市受益者負担の適正化検討化委員会
検討結果報告書・・・・・・・・・・・・・資料8
(9) 仲町公民館・仲町図書館建て替え資料・・・・・・・・・・・・・資料9
- 6 次第 (1) 開会
(2) 配布資料の確認
(3) 館長報告(資料9)
(4) 平成22年度公民館学級・講座の実施状況について(資料2)
(5) 東京都公民館連絡協議会第4回委員部会運営委員会について
(6) 東京都公民館連絡協議会「都公連のあり方検討委員会」
について
(7) 小平市受益者負担の適正化検討委員会報告書について(資料8)
(8) 閉会

会議の概要

1 開会

2 配布資料の確認

3 館長報告

(1) 平成 22 年 6 月市議会定例会について

別紙により説明

(2) 平成 21 年度公民館事業実績について

資料 3 により説明

(3) 仲町公民館・仲町図書館建て替えについて

資料 9 により説明

- ・ 6 月 3 日（木）・4 日（金）に仲町公民館利用者及び公民館運営審議会委員を対象に説明会を開催した。

(4) その他

- ・『公民館だより』117 号を発行した。
- ・ 8 月より、鈴木公民館を除く全館で夏休み学習室を開放し、ポスター・チラシを作成、市内の中学校及び高校を中心に配布している。
- ・ 第 48 回東京都公民館研究大会の企画委員会について、会議状況を報告した。
- ・ 公共施設予約システムの移行について説明した。
- ・ 公民館のメールマガジン配信について説明した。

質疑応答

委員 （夏休み学習室について）自宅ではなく、公民館で勉強することのメリットは何か。勉強についての相談を受けるボランティア等を設置するのか。

事務局 ボランティアの設置等はなく、あくまで自主学習の場となるが、勉強のための静かな環境を提供できる。

4 平成 22 年度公民館学級・講座の実施状況について

資料 3 より説明

質疑応答

- 委員 シルバー大学は半年で 1 期の区切りがある。同様の講座を通年単位で開講している他市公民館もある中、半年で 1 期とする理由は。
- 事務局 以前、シルバー大学は通年開講であったが、受講希望者が多く、落選してしまうと 1 年待たなければならないという状況であった。出来る限り多くの方に受講の機会を提供することを目的に、1 年間で前期・後期と半年で区切っている。
- 会長 シルバー大学については、講座で身に付けた知識を活かし、ボランティアや、地域に還元する活動に卒業生を結び付けるような講座のプログラムが望ましい。また「お父さんとチャレンジ」について、受講者である子供の年齢層はどれくらいであったのか。
- 事務局 子供の年齢は 3 歳～小学校入学前くらいであった。「お父さんとチャレンジ」はジュニア講座ではなく、お父さん方をターゲットにした講座であり、去年の講座企画会議でお母さん方にお聴きしたことからヒントを得て企画した。
- 委員 学校関係の講座を企画する際、必要な情報がなかなか手に入りづらい。公民館と学校が連携をとり、情報を共有することができれば。
- 委員 仲町公民館と鈴木公民館で同じ「ひきこもり」をテーマとした講座を企画・開講している。このテーマについては他機関でも取り上げられているが、それらの他機関との連携はあるのか。また両公民館の講座は、同一の方が受講するのか、それとも別の方々が対象となるのか。
- 事務局 仲町公民館ではひきこもりだけでなく、精神性疾患も取り上げており、そういった方々の支援グループ、家族会と連携をとりつつ、ご家族の相談窓口、ご家族を支援するサークル作りを目指している。鈴木公民館の講座では、人と接するための手法、リラクゼーション法等を取り扱っている。経験談を交えた講話の中で、相談窓口の紹介もしている。

委員 情報交換という意味での連携はとれているが、個々の講座、また奨励学級等、様々な形で同じテーマが取り扱われる場合、それらを一繋ぎに知らせてほしい。学校との連携という点では、可能であれば都立校にも、広報等連携をとることが望ましい。

委員 講師謝礼には基準があるのか。

事務局 毎年度、講師謝礼基準を定め、それに基づいて謝礼額を決めている。

委員 予約システムが導入されたことにより利用者にとっての利便性は向上したといえるが、利用者の声を聞くと、あまり評判が良くない。根本的な問題があるのではないだろうか。システム導入後も、導入前と変わらない窓口対応を希望する。

事務局 端末機に不慣れな方には職員が隣について操作をし、またIDを忘れてしまった等で端末機を使えない方には窓口で対応している。

会長 メールマガジンで配信される内容は、いずれもHPに掲載されているものか。

事務局 全部ではなく抜粋で、見出しに近いものである。

5 東京都公民館連絡協議会第4回委員部会運営委員会について

開催日時 7月9日（金）15：15～16：45

開催場所 昭島市昭島公民館

報告事項

・平成22年度第1回都公連委員部会全体会及び研修会（7月17日開催）について

研修会講師・・・片野親義先生（大東文化大学講師）

研修会課題・・・「公民館運営審議会の役割・課題」

1. 公民館を考えるためのキーワード

（1）法制度に流れる理念

（2）公民館を作った3つの理由

（3）公民館活動が意味するもの

（4）公民館における三権分立について

2. 今、公民館活動に求められているもの 活動の総点検を

- (1) 主催事業はこのままでいいのか
- (2) グループ・サークルに対する援助はこのままでいいか
- (3) 公民館だよりはこのままでいいのか

3. 公民館運営審議会委員の現状を評価するための視点として

- (1) 委員選出の基準と委員数について
- (2) 会議の開催日数と日常活動のありかた
- (3) 答申作りのプロセスと答申内容について
- (4) 答申が行政施策に反映されているか

4. 公民館運営審議会の役割と可能性を考える

- (1) 公民館運営審議会の活動の基軸をどこにおくか
- (2) 公民館運営審議会の活動を発展させるために

・今後の研修会について

第2回は11月7日(日)、第3回は2月26日(土)に昭島市昭島公民館にて開催される。

6 東京都公民館連絡協議会「都公連のあり方検討委員会」について

- ・開催時期・・・平成22年6月～10月
- ・課題・・・東京都公民館研究大会の開催について

質疑応答

会 長 あり方検討委員会で決められた方向性等については、どのような形で提示されるのか。

事 務 局 会議録の公開、報告書という形で、委員長より報告がある。

7 小平市受益者負担の適正化検討委員会報告書について

津嶋財政課長、滝澤課長補佐より、資料8に基づき説明をした。

次回は、9月14日(火)13:30から開催する。